



荏原グループ生活共済会

荏原共済ニュース

2022年3月25日

NO. 139

第35回運営委員会総会開催

去る2月28日(月)に、第35回運営委員会総会がオンラインで開催されました。上程された議案は全て可決され、第35期がスタートしました。

★第34期の活動報告 ～コロナ禍での難しい活動が続く～

○全体感

第34期は、引き続き収束が見えないコロナ禍の中、2020年度の経験を踏まえながら活動を進めた1年となりました。拡大活動については、対面でのビラ配りが出来なかった前回の経験を活かして、食堂に幟(のぼり)やビラの置き場の設置、イントラ周知等、工夫を凝らして活動しました。収支の面では、引き続き会議がオンライン開催となったことにより運営費用の支出は昨年同様少なくなりましたが、個人共済での大型給付が複数件発生し、剰余金は2019年度の水準となりました。

○加入拡大について

例年同様、荏原製作所の新入社員が100名程度に加えキャリア採用も多く行っています。一方で昇格者や離職者、定年退職者もまとまった人数がおり、組織人員はこれらの差し引きとなります。結果、87名増の4,609名となりました。

個人共済会員は、組織者ベースで38名減、家族ベースで59名減となり、減少傾向が止まりません。家族は2,000人を切ってしまいました。拡大活動で口数は増加していますが、新規の加入者数が、年齢制限による脱退や自己都合脱退、退職等の期中の人員減少を超えることができなかつたためと考えられます。口数の増加の取り組みに合わせて、新規加入者の取り組みにも力を入れる必要があります。

○基幹職昇格者の継続・新規加入の取り組み

基幹職へ昇格されると、組合員・従業員会員資格を失いますが、**個人共済の加入は継続することが出来ます**。年齢的にも一番保険を身近に感じる基幹職層の取り込みは、共済会には無くてはならないものです。

第34期は、基幹職昇格者のうち12名が個人共済加入者で、全員の方に継続していただきました。さらに今年は個人共済未加入で基幹職へ昇格した18名に対して、紙面とEメールの両方で加入案内を送付し、3名の新規加入を獲得しました。

昇格する年齢になると、共済の魅力を実感してきて継続、共済の魅力に気づいて新たに加入、とつなげることができますが、共済会未加入の基幹職になると直接アプローチする手段が極端に少なくなります。荏原労働や共済ニュースで魅力を伝える、拡大時に全員に目につく宣伝を行う等、取り組みを工夫していく必要があります。

★第35期活動方針 ～設立35周年に向けて～

今期、共済会は35周年を迎えます。これまで5周年ごとに制度の大幅改定やイベントの実施、記念品配布などを行っており、結果としても大きな拡大につなげてきました。第35期の取り組みとしては、継続する新型コロナの状況を考慮して、記念レセプションや集合型のイベントは開催が困難なことが想定されますので、制度改定と記念品配布を前提に企画を検討していきます。



35期の運動方針の項目は、以下の6点です。

- ①組織人員5000人を目指して！
- ②個人共済の加入率60%を目指して！
- ③安心あったかサポート「おひさま」の拡大を目指して！
- ④共済運営を一体的に推進していくために！
- ⑤新しい働き方の中でも給付スピードを維持するために！
- ⑥共済会設立35周年に向けて！

昨年準備をしていた申請のオンライン化が、あと一息で実現となります。共済会は新しい働き方の中でも「手軽な申請・早い給付」を目指していきます。これからも発展を続け、会員の皆さんのお役に立ち続ける存在でいられるよう努力していきます。もっともっと魅力をアピールして、助け合いの輪を広げていきます。そして35周年を迎える今期、大きな拡大につながる企画を検討しています。お楽しみに！！

共済還元金を支給します！

総会にて剰余金処分案が可決され、個人共済会員への還元金総額が決定しました。

今年の還元率は、年間掛金合計の **38.8%** となりました。3月の給与にて「共済還元金」の項目で振り込まれます。また、3月にお配りした共済証書にも還元金額が記載されていますので、合わせてご確認ください。

昨年は給付件数としては前年より減少しましたが、A型本人死亡給付が複数件あったことに加えて、B型家族死亡給付でも大型給付が重なり、給付額としては増加しました。給付が増えた分還元金は減ってしましますが、万が一の時にもしっかりお役に立てる制度であるということも言えます。

遺族年金共済「おひさま」の配当金は2月給与にて振り込みました。

「おひさま」も年間掛金の **45.1%** が還元されていますので、加入されている方はご確認ください。

「おひさま」の認知度が上がってきたのか、加入者が年々増えてきています。共済会のA型給付だけでは、残念ながら扶養家族がいる場合には少し物足りません。その補完として、また年金として給付を受けられる「おひさま」はとても魅力的な制度です。掛金もお手頃で還元金もあります。未加入の方は是非ご検討ください。

第35期 荏原グループ生活共済会役員体制

| 役職 | 氏名 | 団体 |
|--------|-------|------------|
| 運営委員長 | 古川 央生 | 荏原風力機械 |
| 副運営委員長 | 石橋 繁 | 荏原合同 |
| | 島本 拓 | 荏原冷熱システム |
| | 山田 隼人 | 荏原フィールドテック |
| | 兼平 義治 | 水ing |
| 事務局長 | 松村 一步 | 荏原合同 |
| 事務局長次長 | 古内 利和 | 荏原合同 |
| 会計監査 | 田嶋 拓洋 | 荏原電産 |
| | 伊藤 一史 | 荏原合同 |
| 団体代表者 | 中嶋 俊雄 | 荏原合同 |
| | 山口 隼司 | 荏原風力機械 |
| | 平山 俊也 | 荏原電産 |
| | 森 祐介 | 荏原フィールドテック |
| | 坂内 伸隆 | 荏原冷熱システム |
| | 府川 敏治 | 水ing |